

研修報告

魅力ある「ふるさと納税」へ 6次産業化で特産品開発

渡島西部四町議会議員連絡協議会視察研修

渡島西部四町議会議員連絡協議会の視察研修が、7月22日から24日までの3日間の日程で行われました。当町からは佐藤議員、笠井議員、吉田議員、岩館議長の4名が参加し、上士幌町と音更町を訪問しました。

上士幌町では、「ふるさと納税」の取り組み状況について竹中町長から直接説明していただきました。ふるさと納税は、移住定住の施策と合わせ、6次産業化を図ることで特産品の開発につなげ、感謝特典制度としてふるさと納税額の半額相当分をプレゼントしています。テレビ番組や新聞報道で取り上げられこともあり、7月現在で2億円を超える金額に達しているということです。

また、音更町では農協役員から「体験観光」について、十勝管内全体で取り組んでいる内容について説明を受けました。

取り組みは、「手ぶら農業体験」として、気軽に農家で種まきや収穫作業などを行い、宿泊は十勝川温泉を利用していますが、最近では近隣町の農業者と連携し、民泊にも取り組んでいます。

特に、コンパインに乗っての小麦刈り体験や農家の皆さんと普段通りの家庭的なふれあいが、子ども達に感動を与えているということでした。



農業体験を説明する津島農協理事（音更町）

交通ネットワーク確立を要望

道町村議会議長会

北海道町村議会議長会の総会が6月5日、札幌市で開催されました。渡島議長会を代表して、当町の岩館議長が、「北海道新幹線開業に伴う交通ネットワークの確立」について議題を提出。

並行在来線への財政支援や松前半島道路の早期整備促進等について要望し、満場一致で採択されました。



昨年に引き続き提案説明する岩館議長

「福祉は心」ふるさとを大切に

道町村議会議員研修会

7月4日、北海道町村議会議長会主催の議員研修会が札幌市で開催され、岩館議長ほか6名が参加しました。研修会では、法政大学法学部教授の廣瀬克也氏が「議会改革のこれから」と題して講演。「議論の経過を上手に伝えること。議会活動を住民にどのように見せるか。」を力説。

また、読売新聞解説委員の橋本五郎氏が、「これからの日本の政治」と題して講演。「政治家は、自分を捨てて公に尽くすこと。どんな政権にも『心』が大切である。」と熱く語っていました。



編集後記

■世界中を熱狂させた2014ワールドカップもドイツの勝利で終わり、1か月にも及ぶスपोर्टドラマも幕を閉じました。

■北海道新幹線木古内駅の開業も2年弱と目前に迫り、この機運を生かしたまちづくりを力を傾注してほしいと思います。当然、議会も行政と一緒に課題に取り組みむ覚悟です。

■一方、新幹線開業でJR北海道から経営分離される江差線は、JR北海道のダイヤ改ざんや貨物列車の脱線事故など、問題や課題を抱えたままの見切り発車で第三セクター鉄道開業準備会社が設立されます。

■JR北海道に起因する事故については、三セク開業後もJR北海道が費用負担をするという追加合意はされませんでした。根本的な原因究明を早急に行うとともに、もっと安全対策に努力して、町民の不安を払拭すべきだと思います。

議会だより編集特別委員会
委員 竹田 努